

交通場面に潜む危険…

ココを観察!



■実際に交通事故が多発している危険な交通場面において、ドライバー・自転車利用者・歩行者が、具体的にどこ(何)をしっかり観察すべきか—をまとめました。



▲たとえ前方の信号が「青」でも油断せず、前の車の急な減速・停止に対応できる構えで追従しましょう。

■**渋滞ぎみの道路…**
先行車の流れの変化
 ◎渋滞ぎみの道路をノロノロと走行中、前の車に漫然と追従していると、不意に減速・停止した前の車に追突する危険があります。

ドライバー
 こんな場面では
ココを観察!



▲交差点を発見したときは、アクセルをゆるめ、特に自転車のとび出しに備えて進行しましょう。

★渋滞中でも、前の車に漫然と追従せず、先行車の動向をしっかり観察して、車の流れの変化を先読みしましょう。

■**自宅近くの交差点…**
車や自転車の動向
 ◎特に、自宅近くのいつも通り慣れた信号がない交差点を通行するとき、「ふだん車や自転車はこないから…」と油断して安全確認を怠ると、交差点路から一時停止をせずに出てきた自転車や車と出会い頭に衝突する危険があります。

★交差点道路側に一時停止の標識がある場合でも、交差点路から



▲特に子どもや高齢者を発見したときは、不意に横断してくることがあるので、警戒しましょう。

■**住宅地域の生活道路…**
道路前方の歩行者
 ◎道路の幅員が比較的狭く、車や人通りの少ない住宅地域の生活道路を通行するときは、ドライバーの警戒心が薄れ、道路を横断する歩行者を見落としたり発見が遅れたりして、はねてしまう危険があります。

★たとえば、見える範囲に歩行者の姿がなくても、歩行者は必ずいる—と想定し、絶えず道路前方のあちこちを観察して、横断してくるかもしれない歩行者の姿を積極的に探しましょう。

出てくるかもしれない車や自転車の動向を観察しましょう。

自転車利用者 こんな場面では ココを観察!

■ 通り慣れた交差点：

交差点の車

◎ 特に自宅近くの、いつも通り慣れた信号がない交差点を通行するとき、「ふだん、めったに車はこないから…」と油断して、一時停止をせずに交差点に進入すると、たまたま交差点道路から出てきた車と出会い頭に衝突す



▲ 自転車事故の多くは、街なかの信号がない交差点での出会い頭事故です。

る危険があります。
★ 一時停止標識の有無にかかわらず、必ず交差点の手前で一時停止をし、交差点道路から出てくる車がいまいかどうか、しっかりと観察しましょう。

■ 歩道通行中：

歩道を横切る車

◎ 自転車車で歩道を通行しているときでも、ガソリンスタンドやコンビニ店といった路外にある施設に出入りするために歩道を横切ろうとした車と歩道上で衝突する危険があります。

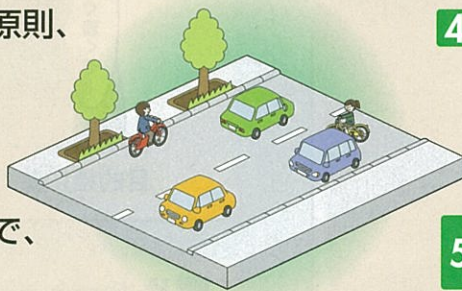
★ 歩道を通行しているときでも油断せず、歩道を横切ってくる車がいまいかどうか、しっかりと観察しましょう。

● 自転車が歩道を通行できるのは、以下の場合に限られます。

- 1 「通行可」の標識や道路標示がある場合
- 2 70歳以上または13歳未満の人、車道通行に支障がある身体が不自由な人が運転する場合
- 3 車の通行量が多いなど、車道通行が危険な場合

自転車安全利用五則

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行



4 安全ルールを守る

- 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
- 夜間はライトを点灯
- 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認

5 子どもはヘルメットを着用

歩行者 こんな場面では ココを観察!

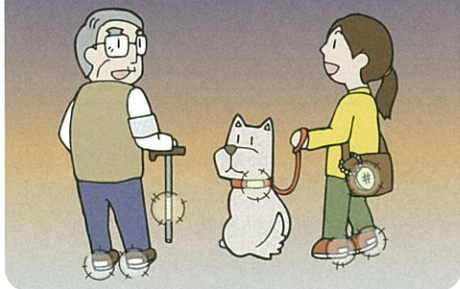
■ 自宅近くの道路：

近づいてくる車

◎ 特に自宅近くの道路を渡るとき、「ふだんは車が通らないから…」と油断して安全確認を怠ると、たまたまやってきた車にはねられる危険があります。

★ 道路を渡るときは、必ず一度立ち止まり、道路の右左から近

夜間は反射材を着用!



づいてくる車がいまいかどうか、しっかりと観察しましょう。
★ 特に夜間、ドライバーには歩行者がよく見えていませんので、昼間以上に警戒しましょう。

■ 信号がある交差点：

右・左折する車

◎ 青信号で横断歩道を渡るとき、「青だから安全…」と油断して漫然と歩いていると、交差点を右・左折してきた車にはねられる危険があります。

★ たとえ信号が青でも、交差点を広く見渡し、交差点を右・左折して近づいてくる車がいまいかどうか、しっかりと観察しながら渡りましょう。



▲ 特に自分の左側から右折してくる車に見落とされやすいので、注意しましょう。

レジャードライブ 安全・快適に!

■レジャーシーズンも本番を迎え、海水浴やキャンプなどに出かける機会が増えますが、慣れない場所での運転や遊び疲れなどにより、思わぬ事故を招く危険があるので注意しましょう。

2 1~2時間おきに休憩をとる



ストレッチなどで体の凝りをほぐす

4 すべての座席でシートベルト着用



同乗者は、車内で騒いだりしない

1 前日は、早めに就寝



睡眠不足は、ぼんやり・居眠り運転を招く

3 目的地が近づいたら改めて警戒心を高める

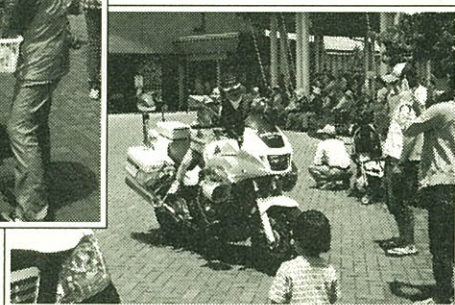


目的地に着く前、30分前後に事故が多発

醒めたつもり…もしかして飲酒運転かも!?

■キャンプや海水浴などの際に酒を飲む人も少なくありませんが、飲酒后、血液中のアルコール濃度が平常値に戻るまでには、思いのほか時間がかかります。

3S運動推進中



5月27日(日)に高齢者交通安全運動(5月1日~31日)の一環として、大平交通安全協会女性部ドライバー会が交通安全啓発活動を行いました。会場には白バイ・パトカーの体験コーナーもあり、白バイ隊・警察官とともに活動しました。お子様や高齢者の方など多くの方に3S運動、交通ルール・マナーについて理解していただきました。

..... 3S(スリーエス)とは

SEE(見る)、SLOW(減速する)、STOP(停止する)の頭文字で

- ①SEE 子どもや高齢者をいち早く発見する。動きをよく見る。
- ②SLOW 子どもや高齢者を見たら減速する。
- ③STOP 危険を感じたら、停止する。